資料1

まちづくりとリーダーシップ

平成30年度
第4回 奈良県・市町村長サミット

奈良県市町村会館
2019年1月15日

蓑原　敬

協力　環境設計研究所

1. まちづくりとリーダーシップの一つの例

十津川の村づくり

命の道 切断されたライフライン

道路の崩壊とともにライフラインは切断された。村内のいたるところで、停電、電話の不通がおこり、情報不足と孤立状態が発生した。

桑畑 樔砂古地区

今戸～滝 間

沼田原地区

谷垣内地区

長殿地区（テラ谷）

神下 下葛川地区

今西地区

野尻地区

今西地区

山天地区

内野地区（白口）

内野地区（中の橋）

迫西川地区

長殿地区

折立地区（折立橋）

被災者の暮らしを最優先に考えた木造応急仮設住宅への挑戦

災害復興を契機とした新しい村づくりへの挑戦～モデル住宅建設

設計者による十津川大工とのワークショップ

設計者による住民とのワークショップ

村民を招いて上棟式および完成式典

高森集落復興住宅

谷瀬集落復興住宅

誰もが最期まで村で暮らすために～高森のいえプロジェクト

センターひろば

高齢者住宅棟中庭

鳥瞰（高森のいえ表側より）

「活力と魅力あふれる村づくり推進委員会」等会議体の発足

これからの村づくりについて、県の支援による村長への説明

現在にわたり継続開催されている「村づくり」に係る委員会のようす

専門家による集落景観デザインの調整会議

むらづくりの羅針盤

第５次十津川村総合計画

平成２９年３月

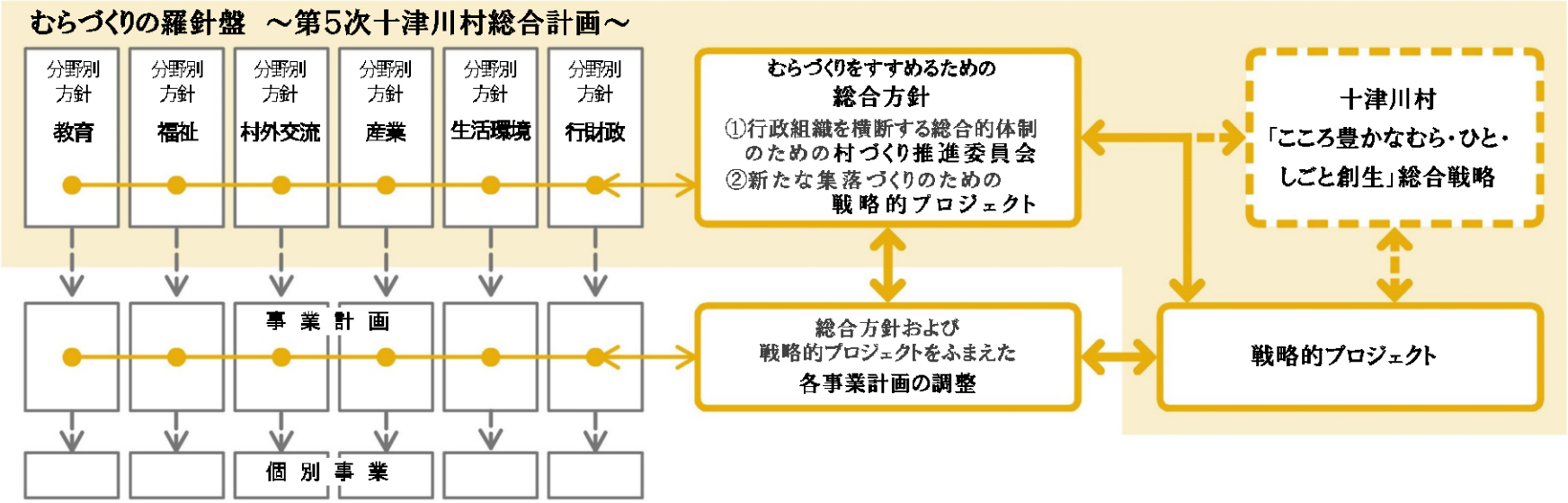
3. むらづくりのすすめ方

村の目指す将来像を実現するため、“十津川村「こころ豊かなむら・ひと・しごと創生」総合戦略”※1に沿って、次のとおりのすすめ方で、この計画を実行します。

① 村の宝を引き継ぎ、村民同士が助けあい、支えあう暮らしを守って村を維持再生するために、すでに紀伊半島大水害からの復興より取り組み始め、高森と谷瀬で先導的に実現し始めている「村の芯」づくり事業を参照しながら、**村の７区全体において村づくりの理念の実現**をめざします。

② むらづくりの理念の実現のためには、行政の各分野に分け持たれている施策や事業の連絡調整を図り、村の戦略に沿って各集落の事情に合わせながら、**分野横断的かつ総合的に取り組む**必要があります。

③ そのため、本計画では、行政各分野における包括的な計画だけではなく、各行政部門の協働が必要な**戦略的なプロジェクト**を取り上げます。また、このプロジェクトの実施にあたっては、**村の風景を維持、再生できるようなデザインへの配慮**を行います。

④ これらのプロジェクトが、村長の指揮の下、役場の組織を横断し、村民とも協働して実現できるような**総合的な取り組みの体制を構築**します。

※1：国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、村の活性化を目指した地方創生に関連する理念や取組を位置づけた計画（平成28年3月策定）。